

【基本情報】

2次医療圏域	阪神北			
経営形態	公営企業法全部適用			
病床数 稼働(人)	一般	250 (234)	高度急性期	0 (0)
	療養	0 (0)	急性期	250 (234)
	結核	0 (0)	回復期	0 (0)
	精神	0 (0)	慢性期	0 (0)
	感染症	0 (0)	合計	250 (234)
合計	250 (234)			

【診療科目】

内科	○	産婦人科	○
精神・神経内科	-	眼科	○
小児科	○	耳鼻いんこう科	○
外科	○	放射線科	○
整形外科	○	歯科・口腔科	-
脳神経外科	-	麻酔科	○
皮膚・泌尿器科	○	その他	-

【医療機能】

救急告示病院	○	人間ドッグ	○
臨床研修病院	○	人工透析	-
がん診療連携拠点病院	-	ICU・CCU	-
感染症指定医療機関	-	NICU・未熟児室	○
へき地医療拠点病院	-	運動機能訓練室	○
災害拠点病院	-	放射線診療	-
地域医療支援病院	○		
特定機能病院	-		
病院群輪審判病院	○		

グラフ凡例



【分析】

経営分析総括

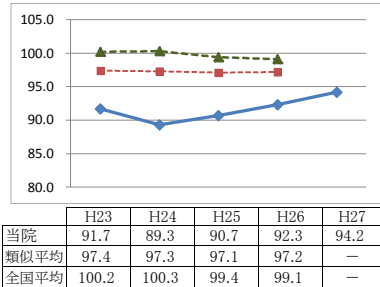
平成26年度決算において、資金不足比率の超過から、経営健全化団体となり、平成28年3月に、平成27年度から30年度の4年間を計画期間とする「市立川西病院経営健全化計画」を策定し、現在、計画に基づく収支改善に向けた取り組みを展開している。

①経営の健全性

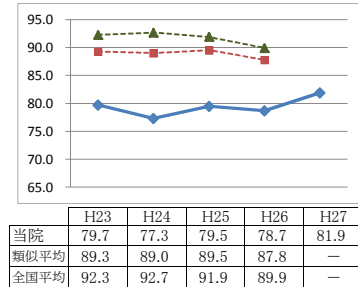
資金不足比率について、平成26年度に、医師の確保による診療体制の充実に伴う給与増の増加などにより、25.8%となったが、入院・外来の医療収益の増加に加え川西市からの財政支援により、平成27年度は、13.8%と改善した。
 また、経常収支比率、医療収支比率については、費用超過の状況が続いており、他団体との比較において低い水準にあると認識している。
 健全化計画に基づき、収入確保・経費削減を行い、経常収支比率、医療収支比率等の改善に向けた取り組みを行う。

1 経営の健全性

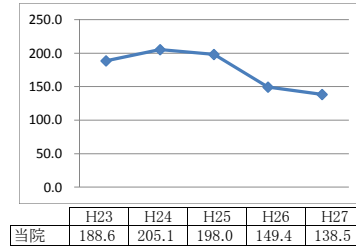
①経常収支比率(%)



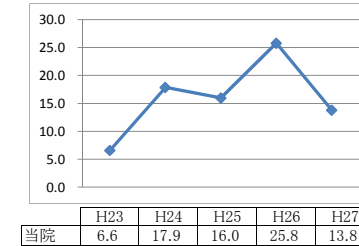
②医療収支比率(%)



③累積欠損金比率(%)

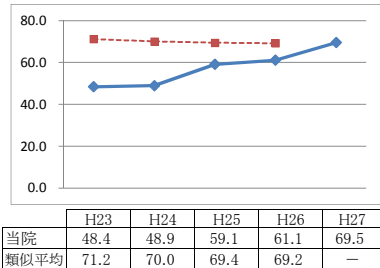


④資金不足比率(%)

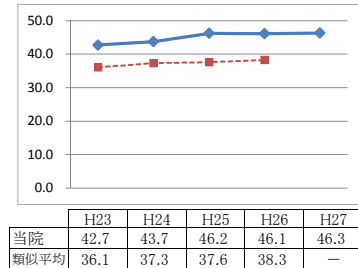


2 収入確保・経費削減

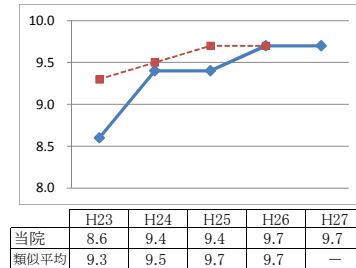
①病床利用率(%)



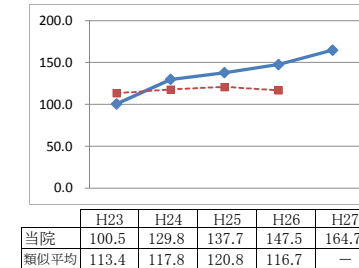
②患者1人1日あたり入院収益(千円)



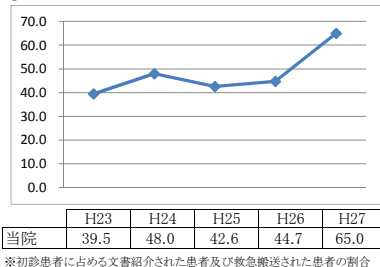
③患者1人1日あたり外来収益(千円)



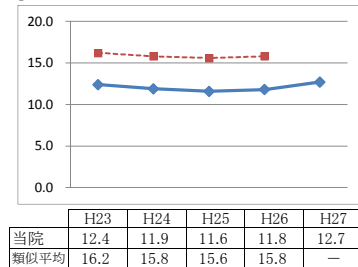
④病床100床あたり職員数(人)



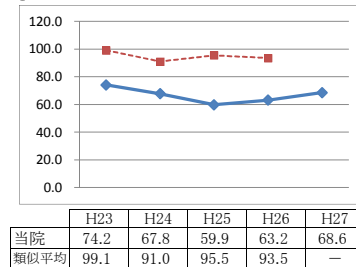
⑤患者紹介率(%)



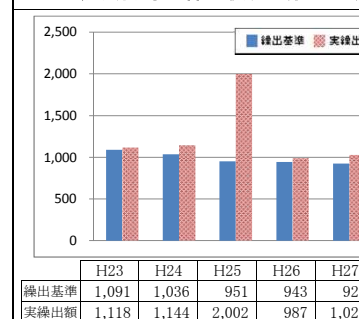
⑥平均在院日数(一般病床)(日)



⑦薬品使用効率(%)



3 一般会計等の繰出状況(百万円)



※繰出基準:性質上、病院に対して一般会計等が負担すべき経費(救急、高度医療など)
 ※実績繰出額:病院に対して一般会計等が実際に負担した経費

※初診患者に占める文書紹介された患者及び救急搬送された患者の割合

※薬品収益/薬品購入原価 (比率が高いほど薬品収支がよい)